



©岐阜県

今号の内容「新しい研究の紹介」

- リモートセンシング技術を利用した「コシヒカリ」の良食味化
- 「夏秋トマト3Sシステム」の更なる生産性向上を目指して
- 中山間地域における果菜類の安定生産・省力化技術の開発
- AIを活用した切花フランネルフラワーの出荷予測・開花調節技術の開発

清流の国ぎふ

リモートセンシング技術を利用した 「コシヒカリ」の良食味化

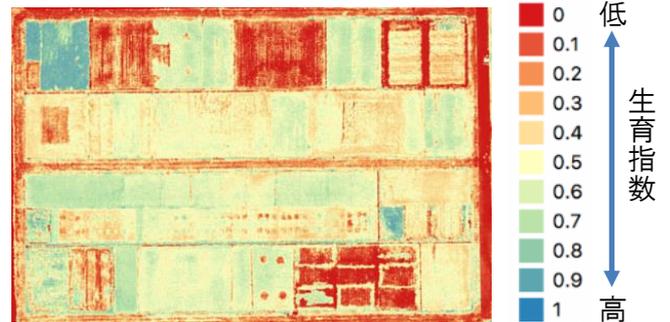
飛騨地域産「コシヒカリ」は、米食味分析鑑定コンクールで数多くの賞を獲得し、高い評価を受けています。しかし、国内各地域でブランド米の開発や良食味米の販売等により、米の地域間競争が激化しています。

そこで、県内産「コシヒカリ」のさらなるブランド力向上のため、ドローンや人工衛星等を利用したスマート農業の実践により、「コシヒカリ」の品質を向上するための試験を開始しました。

【本所担当／可児 友哉】



ドローンを用いた食味調査
(岐阜大学との連携)



ドローンで撮影した圃場の画像分析による
生育状況の推定結果

「夏秋トマト3Sシステム」の 更なる生産性向上を目指して

当所で開発した「夏秋トマト3Sシステム※」は、ポットに専用培土を詰め、土壌から隔離することで土壌病害を回避するとともに、20t/10aという地域慣行2倍の多収を確保でき、現地でも普及が始まっています。

今年度から、ICTを活用し、更なる生産性向上を目指した試験を開始しました。栽培期間の前進化とこれに伴う温度・給液管理の最適化、生育状況の見える化を図っていきます。5年後には30t/10aを実現します。

【本所担当／浅野 雄二】



環境モニタリング機器
(温度・湿度・CO₂などを測定)

※「3Sシステム」
Small amount Separated cultivate-system
for Soranaceae
＝ナス科果菜類隔離型少量培地耕システム

中山間地域における果菜類の 安定生産・省力化技術の開発

夏秋トマトの安定生産のため、「低段の果実肥大を適正化する育苗管理方法の確立を目指した研究」を開始しました。

まず、育苗期の肥培管理が苗質や低段の果実肥大に及ぼす影響、収量、品質に及ぼす影響を調査し、5年後には育苗管理マニュアルを完成します。



育苗期の管理が初期果実品質に及ぼす影響を確認中

また、現地導入が始まっている「3Sシステム」(前ページ参照)について、栽培用培土の少量化(5L→2.5L)や、経費節減や作業性向上のための栽培ベンチの改良の検討を行っていきます。

【支所担当/遠藤 彰将】



3Sシステムの改良ベンチにおける
トマトの生育状況

AIを活用した切花フランネルフラワーの 出荷予測・開花調節技術の開発

フランネルフラワーの切花は、その柔らかな独特な質感で人気が高く、ブライダル用花き品目としても評価され生産が増加しています。しかし、出荷時期集中による価格低下や、需要期の品薄などがあり、県全体としての出荷調整が望まれています。

そこで、県農業技術センターと共同で、AIを活用した「出荷予測アプリ」の開発及び、それを活用した出荷時期と量の調整ならびに、平坦地と中山間地のリレー出荷による出荷期の拡大を目指した研究を開始しました。

今年度中津川支所では、作期別の栽培環境(温度・湿度)と生育状況、開花日を調査し、アプリ開発に必要なデータを収集します。

【支所担当/浅野 正】



切花用フランネルフラワー品種 “ファンシーマリエ”

岐阜県
中山間農業研究所

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重二丁目6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751

中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市福岡1821-175
TEL: 0573-72-2711 FAX: 0573-72-3910

研究所ホームページ <http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>